

【上下水道事業について】

市内では高度経済成長期に整備した水道管や下水道管の老朽化が進んでいます。このままでは近い将来、管の老朽化に起因する断水や道路陥没など日常生活に影響を及ぼすリスクが高まることについて、どのように感じますか。(n=2,272)

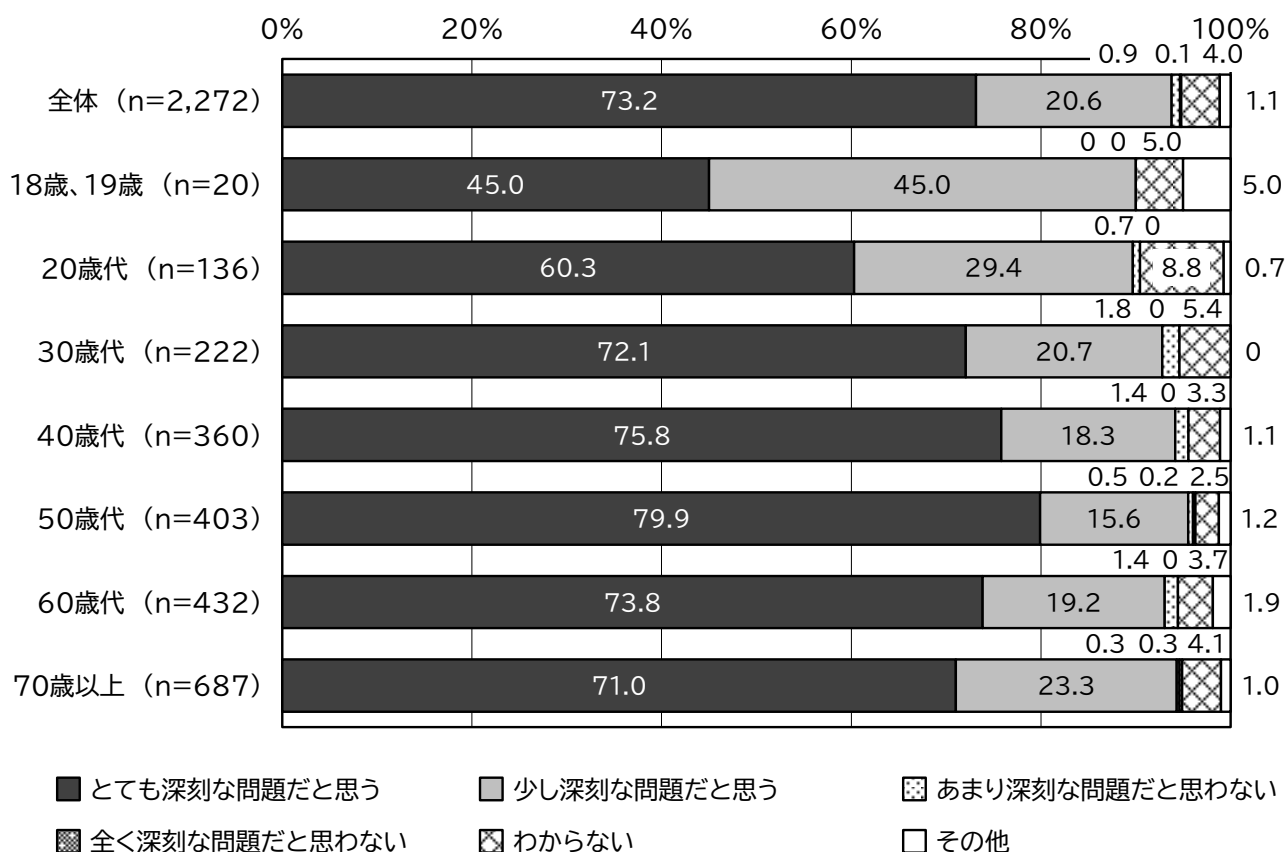
(1) 全体的傾向

「とても深刻な問題だと思う」と回答した人の割合が73.2%と最も高く、次いで「少し深刻な問題だと思う」(20.6%)、「わからない」(4.0%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

すべての年代で「とても深刻な問題だと思う」と回答した人の割合が最も高く、45.0%~79.9%となっている。

また、18歳、19歳は「とても深刻な問題だと思う」と回答した人の割合が45.0%と他の年代と比べ低くなっている。



水道水の安定供給や適切な汚水処理を行うためには、今後、老朽施設（管・建物等）の更新に多額の費用が必要となりますが、料金（使用料）と上下水道サービスのバランスについて、どのように思いますか。（n=2,270）

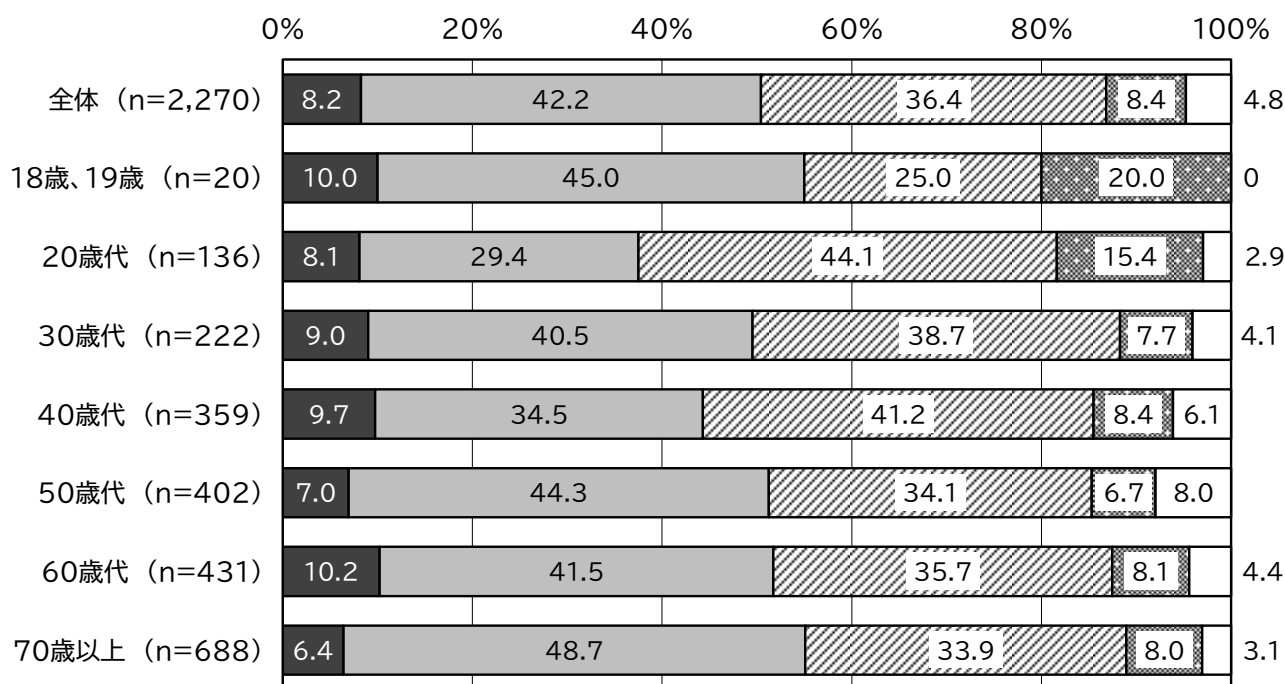
（１）全体的傾向

「料金（使用料）を若干値上げして、老朽施設の更新を進める」と回答した人の割合が42.2%と最も高く、次いで「料金（使用料）は値上げせず、老朽施設の更新はできる範囲で進める」（36.4%）、「わからない」（8.4%）と続いている。

（２）年代別にみた特性

18歳、19歳及び50歳代以上は「料金（使用料）を値上げして、老朽施設の更新を積極的に進める」、「料金（使用料）を若干値上げして、老朽施設の更新を進める」と回答した人を合わせた割合が5割を超えている。

一方、20歳代～40歳代は「料金（使用料）は値上げせず、老朽施設の更新はできる範囲で進める」と回答した人の割合が約4割程度となっている。



- 料金(使用料)を値上げして、老朽施設の更新を積極的に進める
- 料金(使用料)を若干値上げして、老朽施設の更新を進める
- ▨ 料金(使用料)は値上げせず、老朽施設の更新はできる範囲で進める
- わからない
- その他